

きずな

第35号

発行
あわら警察署
少年警察協助力員会
(あわら警察署内)

「少年警察協助力員会の活動について」

あわら警察署少年警察協助力員会会長

北浦 博美

令和6年は思いもよらぬ痛ましい災禍が始まってしまいました。能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします。

あわら市においても、震度5強を観測し、大きな被害を受けられた地域もあり、改めて自然災害の怖さと備えの大切さを感じております。

さて、私たち少年警察協助力員会は、少年の非行防止や健全育成の為に活動している民間ボランティア団体で、警察から委嘱され、街頭補導や、世論の啓発活動、有害環境浄化などの活動を行っています。

中でも、独自の「防犯ポスター・作文コンクール」は、あわら市とあわら警察署の後援を頂きながら、市内6団体による協議会により二十年近く続いており、携わってくださった歴代の役員の方や、各学校の先生および関係者の皆様に、深く感謝いたします。

本年度も、多くの作品の応募を頂き、どの作品も素晴らしい、審査員の方々も相当悩んで入賞作品を選んでおられました。このように子供達が「防犯」の意識を持って書いてくれている事に、この活動の意義を感じている次第です。本紙にも入賞作品を掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

今日の現代社会において子供達を取り巻く環境は、必ずしも適切なものとは言えず、無責任ともいえる社会風潮が広がっております。私たちの活動は非常

に地味ですが、温かい心で目配り気配りをしながら、大切な子供たちの未来を守るために活動していきたいと思っております。どうかこれからも、少年警察協助力員の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

「青少年健全育成について」

あわら警察署長 酒井 康典

あわら警察署少年警察協助力員会の皆様には、平素より街頭補導活動や少年の健全育成に資する啓発活動にご尽力を賜り、敬意を表するとともに感謝申し上げます。

本年は年始より能登半島地震や航空機事故など暗いニュースが続き、あわら市内においても地震により様々な被害を受けた方もいらっしゃいました。

しかし、悪いニュースだけではなく、本年3月16日に北陸新幹線が延伸となり、いよいよ芦原温泉駅にも新幹線が停車するという明るい話題もあり、市民の方々も大いに盛り上がっていることと思います。

さて、ここで北陸新幹線芦原温泉駅の開業が少年に与える影響を考えますと、首都圏との交流人口が大幅に増え、少年の置かれている環境が激変することが予想されます。

暮らしがより便利になることもありますが、目新しいものに触れる機会が増え、都会からの様々な誘惑により、少年が巻き込まれる犯罪が増加することも懸念されます。

このような情勢の中、青少年の非行防止や健全育成のためには、警察も尽力いたしますが、少年警察協助力員の皆様をはじめとする関係機関の方々のお力添えが不可欠であり、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和五年度

あわら地区防犯ポスター・作文コンクール

防犯作文の部

【最優秀賞 中学生の部】

「言葉の責任」

芦原中学校2年 松田 結来

私たちが生きている社会で欠かせないもの。それはインターネット。今の時代利用している人が殆どで、便利ですが使い方を間違えると人を傷つける凶器へと変化してしまいます。

また、最近SNSの利用で問題視されている誹謗中傷。誹謗中傷とは悪口や根拠のない嘘等で他人を傷つけたりする行為です。それによって傷つけられた芸能人が自ら命を絶つたというニュースを見ました。私は衝撃で悲しく、なぜそんな事をするのかと許せない気持ちで一杯になりました。匿名だからといって人を傷つけていい理由には決りません。他人を傷つけても自分が得られるものはないのです。

例えば各企業に対して誹謗中傷をすると風評被害などの影響で、

企業のイメージや信頼性が損なわれ、売上げ減少につながる可能性があります。このようなことから社会全体の雰囲気や人間関係が悪化する事もあります。誹謗中傷を防ぐには、一人一人の共感と思い



金津東小2 白田望桜さんの作品

やりの力が大切だと思います。

もし自分が心無い言葉で傷つけられたらどう思うでしょう。私は、見ず知らずの人に言われたら耐える事ができないと思います。ネットに書込む前に正しい言葉なのか、本人が見たら嫌な気持ちにならないかをよく考えてほしいです。その人の一部分を見て書き込むのではなく、他の部分もよくみて互いが人の心をいやすことで良い影響を生み出すことができます。

また、言葉の選び方も重要だと思います。言葉というものは相手と意思疎通できる便利なものですが、誹謗中傷とは言葉を使った攻撃であり表現の仕方で様々な影響があります。もつとあつたかい言葉を使ってSNSを平和にしませんか。

SNSの普及により様々な影響が広がっています。誹謗中傷は人の数だけあるし、それをやめられない人はSNSを使うべきではないと思います。誹謗中傷の背後にある個人の問題・自己不安を解消させる事も大切だと思います。

このような事から私達は、ネット上の言葉の使い方と誹謗中傷の問題に真剣に向き合っていくべきです。個人の努力と社会全体の取組みが重なり合い、より良いネット空間を実現することができるでしょう。

私達が思いやりと尊重の意識を持ち、ネット上の言葉の力をポジティブな変化に向けて活用する事で、より共感のある社会を築いていきましょう。



芦原小3年小林莉姫さんの作品

【最優秀賞 小学生5・6年の部】

「犯罪は自分で防ぐ」

金津東小学校5年 古畑 竣也

ぼくは、「犯罪」の中でも空き巣や不法しんにゆうがどういふことか考えてみることにしました。

まず考えてみると自分にできることは、「外出するときや遊びに行くときなどは、家のかぎをしめる。」ことや「ねる時にまどをしめること」も大切だと思います。これらの方法は自分の命を守ることにつながります。これらの方法はどんな犯罪たいさくになるか考えてみることにしました。考えは三つあるのでみなさんも考えてみてください。

一つ目は、しっかりかぎをしめることです。まず、かぎをしめないと犯罪たいさくとして一つ失われていきます。ですから、外出するときやねる時などしっかりかぎをしめたほうが不法しんにゆうや空き巣などを防ぐことができます。すごく重要だと思います。

二つ目は、お財布などお金が入っているものを分かりやすい場所ではなく、見えない場所に置くようにすることです。見える所にあると外から空き巣がみたときにねらわれやすくなるからです。引き出しなどに片付けておくことが大事だと思います。

三つ目は、個人情報ばげつたいに流さないことです。ぼくは家でよくゲームをします。まだ課金やオンラインショップでの買い物をしたことはないけど、よくゲームに夢中になりすぎて、課金してよく大なせい求がきたという話を聞いたことがあります。ゲームをするときやネットをつかう時に分らないことがあつたらお父さんやお母さんに聞いてすることが大切だと思います。

ぼくは、犯罪防止をするには、たくさん人の協力があると思いました。いろんな人がいろんな所で注意をしていかないと犯罪はなくなると思います。それでも犯罪を完全になくすのは、なかなかむずかしいと思います。今、ぼくにできることは、少ないかもしれませんが、でも多くの人に伝えていきたいと思っています。

【最優秀賞 小学生3・4年の部】

「安心安全な町づくり」

金津小学校4年 赤尾心虹

わたしはおじいちゃんが、早朝街頭指導や、夜間パトロールに出かけて行くすがたをよく見かけ、どんなことをしているのかをくわしく聞いてみました。

すると、スーパーや、駅などであいさつをしながら交通安全のチラシを配っていると聞いていました。たいへんだけやりの力があるそうです。

また、私の家の近くの横断歩道には、毎朝おまわりさんが立っています。わたしがあいさつをすると、わたしの顔を見てあいさつを返してくれます。そして、「気をつけてね。」と言ってくれます。それで、私は学校を今日もがんばるぞという気持ちになります。

こんなふうに、はんざいが起こっていなくても、おまわりさんや、見守りたいの方がたは、防はんやちいきの安全のために、はたらいてくれています。

わたしは、防はんの意味を調べました。防はんとは、はんざいが起きる前に防ぐことです。防はんブザーや、かんしカメラなどの道具でも防はんすることができ



金津東小2年 瀬戸爽誠さんの作品

るかもしれませんが。これは、わたしたち一人一人の心がけでできる防はんです。

また、おまわりさんや、おじいちゃんのような人の見守りによって、さらに防はんにつながっていくのだと思います。

私は、ニュースでこんなことを聞いたことがあります。ニューヨークのある街では、一年間で約三百五十件の殺人事件が起るそうです。これは、一日あたり一件の殺人事件が起ることになります。

例えば都会などの一人ぐらしが多くて、地いきの人と人の関わりが少ない地いきは、事件が多いのだと考えました。

わたしのお父さんは、地域のイベントにわたしたち子どもをつれていってくれます。ついでいくと、地域の人たちとおしゃべりしたり、いっしょに活動したりしてとても楽しいです。次に会う時にも名前を覚えていてくれます。

また、お父さんは、大雪がふった時に、地域の一人ぐらしの高い者に、「はんとをどけていました。

わたしは、人と人の交流や助け合うことも防はんの一つだと思えます。また、あいさつも人と人の中を深めるのだと思えます。しかしわたしは、なれている人や親しい人しかあいさつができません。

でも、わたしのお兄ちゃんは、知らない人でも、大きな声であいさつができます。これからは、お兄ちゃんをまねして、知らない人でも、大きな声であいさつできるようにしたいです。

防はんという言葉だけを見ると、はじめは、わたしにはできそうもないことだと思っていました。けれど、あいさつや地いきの人との交流など、子どものわたしにもできることがたくさんあることに気づきました。

自分でできることをすることで、自分を守ったり、地いきの人を守ったりすることができるとです。そして、わたしが大人になった時にも、安全で安心できる地いきであるといひです。



北潟小5年 坂遊月さんの作品



金津小4年 藤田咲優里さんの作品



金津小5年 甚佐有衣さんの作品

防犯ポスターの部

〔小学校1・2年の部〕

最優秀賞 (あわら市長賞)

金津東小学校2年

白田 望桜

あわら地区防犯連絡所協議会長賞

金津東小学校2年

瀬戸 爽誠

〔小学校3・4年の部〕

最優秀賞 (あわら市長賞)

芦原小学校3年

小林 莉姫

福井県金融機関防犯協会あわら支部長賞

金津小学校4年

藤田 咲優里

〔小学校5・6年の部〕

最優秀賞 (あわら市長賞)

北潟小学校5年

坂遊月

青少年健全育成あわら市民会議会長賞

金津小学校5年

甚佐 有衣

〔中学生の部〕

最優秀賞 (あわら市長賞)

芦原中学校1年

小西 遼真

あわら地区コンビニエンスストア等防犯協会会長賞

芦原中学校1年

武田 愛菜

防犯作文の部

〔小学校3・4年の部〕

最優秀賞 (あわら警察署長賞)

金津小学校4年

赤尾 心虹

あわら市教育長賞

金津東小学校4年

白崎 史子

〔小学校5・6年の部〕

最優秀賞 (あわら警察署長賞)

金津東小学校5年

古畑 竣也

ゆうゆうと輝く市民の会長賞

金津小学校6年

北山 瑠一

〔中学生の部〕

最優秀賞 (あわら警察署長賞)

芦原中学校2年

松田 結来

あわら警察署少年警察協助力会長賞

芦原中学校2年

本馬 佑都



『京都医療少年院視察研修』

あわら警察署少年警察協助力員 加納 藤吉郎

去る十一月二日、総勢十二名で京都医療少年院
に行つてまいりました。

この施設は、昭和二十四年に京都少年療護院とし
て発足し、翌年二十六年に京都医療少年院に改称し
現在に至つており、入所者は西日本の家裁において、
第三種から第五種少年院送致の決定を受けた少年
並びに少年院在院中に専門的治療や検査が必要に
なつた少年です。

この院の特色として、それら送致対象の少年に対
して、院内にある医療機関【精神科、内科、外科など】
が病気の治療と回復に当たると共に、特殊な病気や
検査については、必要に応じて更に専門の医療機関を
受診できるようになつてゐることです。

また、それら医療措置と合わせて行われる矯正教
育においては、三級の面接指導や衛生指導を通して
基本的な生活態度を醸成し、二級の個別指導及び情
操教育、集会などを通して健全な考え方や責任感
を養い、一級の出院後の生活設計を通して自律的な
生活態度を身につかせながら社会復帰に向けた教
育を段階的に行つてゐるとの説明を頂きました。

その後、院内施設を見学させて頂いたところ、院生
の居室はすべてトイレ完備の個室になつており、各種
教室や研修室、グラウンドに体育館等、その施設は
大変充実しており、その中での生活は、朝七時の起
床から夜九時の就寝までスケジュールされ、診察や治
療を合わせ、個別指導、職業指導、情操教育などが
行われているとのことでした。

また、院内のそこかしこには書道、図画、陶芸など
在院者の作品が展示され、中々立派な作品も多数
見受けられました。

今回の視察研修にあたり、これまで少年院には、精
神や身体に障害をもつてゐる少年が入つてゐることを
あまり知りませんでした。そのような少年が存在
し、それらの少年が社会復帰に向けて懸命に努力し
ていることがわかり、私たちが今後協助力員活動をす
る上で大変有益な視察になつたと思ひます。



「京都医療少年院」視察研修



防犯ポスター・作文コンクール 表彰式



下校見守り活動

編集後記



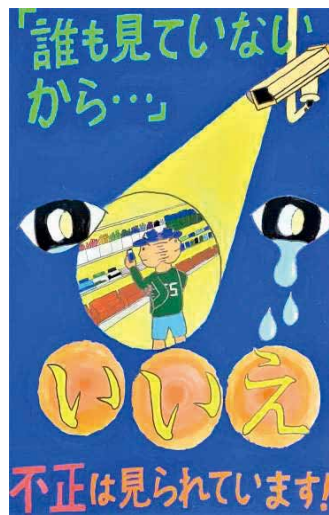
新年早々、能登半島地震で北陸地方は悲しみの幕開けとなつて
まいりました。一日も早い復興を目指し「希望」をもつて生活してい
て頂きたいと思ひます。

さて、いよいよ今月十六日に北陸新幹線が開業します。ぜひとも
地域全体で「おもてなし」の心をもつて迎えましょう。併せて、夏に
はパリ五輪も開催され若いアスリート達には固い団結力と高い目標
をもつて一人でも多くの表彰台を期待したいです。

今年もスタートして早2ヶ月余り。当地区でも少年たちを温かく
見守る環境を大人達の責任として構築して行きましよう。

私たち少年警察協助力員もその一助となれるよう、街頭巡回や啓発
活動を通して明るい社会を目指して行きます。地域の皆様のご理
解とご協力をよろしくお願ひいたします。

あわら警察署少年警察協助力員 小林 純一



芦原中1年 小西遼真さんの作品



芦原中1年 武田愛菜さんの作品